

備前市事務事業評価表

事務事業名	中山間地域等振事業		コード	04-01-01-13
			担当課・係	農林水産課管理係
			担当者	中畑喜久弥
			電話	0869-64-1831
事業実施期間				
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	もてなしの心とたくましさのあるまちづくり		
	中項目(基本施策)	豊かな食をささえるまちづくり		
	小項目(施策)	農業		

事業について	
目的 (何のために)	中山間地域等における農用地を保全し、水源かん養等の多面的機能を確保するため
対象 (誰・何を対象に)	集落協定に基づいて農業生産活動を行う農業者
内容	集落協定の作成指導、補助金交付要件を満たすように指導、共同取組活動・農用地の管理についての指導、直接支払交付金交付事務

事業の結果			
実施項目	17年度 回数など (単位)	18年度 回数など (単位)	回数など (単位)
事業推進事務	14 集落	14 集落	
事業確認事務	14 集落	14 集落	
交付金交付事務	14 集落	14 集落	

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源				
	直接事業費	13,616	国庫補助金等	9,924	直接事業費	12,986	国庫補助金等	9,818			
	人件費	2,947	受益者負担		人件費	2,598	受益者負担				
		市債				市債					
合計	16,563	一般財源等	6,639	合計	15,584	一般財源等	5,766	合計	0	一般財源等	0

必要人員	0.41	人	0.39	人
結果指標名	交付金交付事務		交付金交付事務	
結果指標量	14		14	
単位	集落		集落	
対前年比	-		100.00%	
活動にかかるコスト	14,748,807	円	14,227,620	円
単位当たりコスト	1,053,486	円	1,016,258	円
結果指標名	事業確認事務		事業確認事務	
結果指標量	14		14	
単位	集落		集落	
対前年比	-		100.00%	
活動にかかるコスト	906,998	円	676,063	円
単位当たりコスト	64,785	円	48,290	円

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか			
成果指標名	中山間地域等直接支払交付金事業実施面積	式又は説明	対象面積に対する実施面積の割合
	17年度	18年度	
成果指標量	86.20%	86.20%	
対前年比	-	100.00%	0.00%
到達目標値	90%	到達目標年度	

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 関係法令等： 中山間地域等直接支払交付金実施要領	妥当性評価<A~E> B
	対象の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	課題認識
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である		
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価<A~E> B
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	課題認識
	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A~E> B	
有効性の評価	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	課題認識
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

平成19年度の状況		説明 平成17年度から5年間の継続事業なので、確実に交付要件を満たし、農地の管理を集落に働きかける。
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している	
<input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している	
<input type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	
目標値	結果指標量 14 集落	結果指標量 14 集落
成果指標量		

総合評価	平成12年度から5年間が終了し、継続して17年度からほぼ同じ集落が継続して取組んでいるため、事業の趣旨は十分理解しているが、事務的に指導不十分な点があるので、改善を働きかける必要がある。	評価区分<A~E> C
------	---	-------------

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了
--------------	---	---	---------------------------------------

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	事業の目的である農地の管理を徹底する。		荒廃農地の減少に歯止めをかける。
効率性	集落が行う事務処理の指導を徹底する。		当市の事務の軽減を図る。